

Web 版

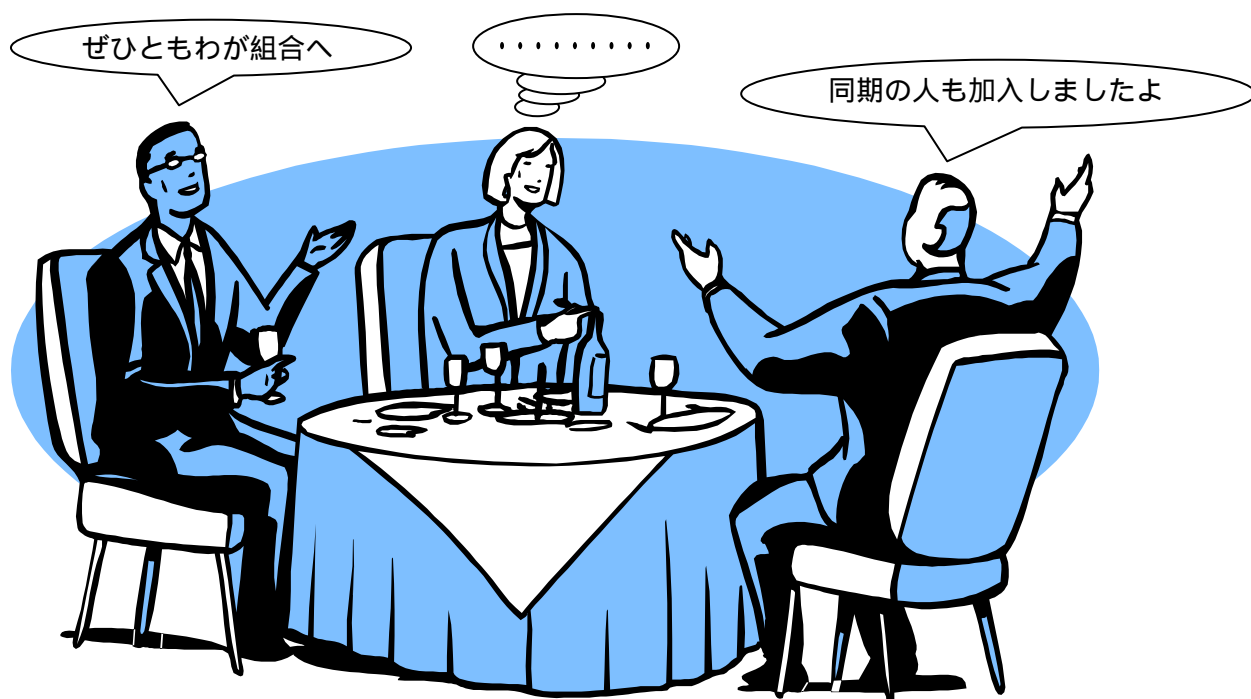
ろうどうくみあいのしょうたい

労働組合の正体

職員になってしばらくすると、ほとんどの人が組合への加入催促の怒涛の嵐を嫌になるくらい経験することになるでしょう。

組合役員という肩書きをブラ下げた人から、難しい言葉で説明されて加入をすすめられるときもあれば、なんの説明も無しに強制的に加入用紙に記入させられたりするかも知れません。

最悪な場合、歓迎会と称して呼び出し、「うん」と言うまで帰さないというダマシのような組合があるとの噂も囁かれています。



このような噂が絶えない状況を憂い、自治労京都市職は、正しい労働組合の知識の向上と、新たに組合へ加入しようと考えているアナタのために、この『労働組合の正体』を作成しました。

いざというときのためにコレを一読しておけば、少しはお役に立つかもしれません。

(自治労京都市職員労働組合・『労働組合の正体』製作委員会)

『労働組合』とは何か？

基本的に『労働組合』とは、労働者が労働条件の維持・改善および社会的地位の確立をはかるために組織する大衆団体であり、労働運動の組織的基礎となるものです。

わかりやすく言えば、雇用主に対して賃金の改善や仕事をよりしやすくするための、要求や取り組みを組織的にしていく集団です。

ちなみに3人集まれば労働組合を結成することができます。

しかーし...

昨今のきびしい社会情勢と公務員バッシングの影響もあり、全国的に地方公務員の給料は削られたり、据え置かれたりすることのほが多くなっています。

一生懸命勉強して公務員になった皆さんは、もしかして大変な時期に就職したのかも知れません。(合掌)

でも、労働組合も今の状況を指をくわえて見ているわけじゃありません。給料の引き下げや人員削減攻撃に対して、粘り強く交渉を重ね、最小限に食い止めたりしているのです。



組合員の想いを訴え、労働条件の改善に向けて総務局と交渉を行う自治労京都市職(左)

「労働組合」の必要性とは？

やはり組合が「ある」と「ない」では私たちの労働条件も大きく違ってきます。組合がないと給料のカットや人員削減など、雇い主にええようにやられっぱなしになります。

労働者の権利や生活を守っていく上で、労働組合はやはり必要不可欠な存在なのです。

組合に加入したほうがいいのか？ たとえばアナタが、先細りの京都市財政を極太にするにはどーしたらいいのかと考えたとき、その意欲的な意見に耳を傾けたり一緒になって改革を訴えてくれるのが**自治労京都市職**だったりするのです。つまり、一人の力ではどうにもならないことも、組合に加入して組織的にアクションを起こすことによって、道が拓かれることもあるのです。

『One for all , All for one』ですね。

そこで、アナタ自身が労働者であるならば、労働組合の存在意義を理解するためにも、出来るだけ組合に加入することをおススメします。

ただし、京都市には組合が複数あるので、どの組合に加入するかは後述する情報をご覧ください、自分で正確な判断をしなくちゃあいけません。

職場にいる組合役員と称する人物から何の説明もなしに言われるがまま、訳もわからず加入用紙にサインってのは絶対にダメですよ。



京都市にある二つの労働組合

厳密にいうと、京都市には他にも労働組合はありますが、二大勢力として次の組織、

自治労京都市職員労働組合(通称:自治労市職)

と

京都市職員労働組合(通称:市職労)

が存在します。

なんで組合が二つもあるの？

もともとは、1946年に結成された『京都市職員労働組合』という一つの組織でした。しかし、考え方や思想の違いなどによって、格好の悪い話ですが組織内での醜い権力争いが絶えずありました。

そんな大人げないケンカがもとで、とうとう1990年に組合が真っ二つに分裂するという事態に発展しました。そのときに産声をあげたのがもう一つの労働組合『自治労京都市職』だったのです。

お家騒動は組織分裂という最悪の結末に。自治労脱退を心に誓った市職労は・・・



分裂に至った真相は、別のところで説明してありますが、さらに詳しく知りたい方は、双方の組合が開催する説明会で質問してみてもいい。

我とこの組織は褒めちぎりたおして、相手のことは悪の枢軸みたいにボロカスに言うかも。

でもいつまでも、そんなことを真顔でゆーてるようでは、ただの頭の悪い集団です。

どんな組合なの『自治労市職』って

1990年に結成。現在の市長の与党組合であり、連合傘下の自治労に加盟している組織。現在、約3,700人の組合員で構成されています。

【与党組合】 組合員の仕事と生活のため、そして京都市を良くしていきたいと考え、市長と政策協定を結んでいるので、このように呼ばれたりしています。

ときには、市政のありなどについてモメ倒すこともありますが、つねに考え方は『職員と市民を守るため』です。

【連 合】 1989年結成の『日本労働組合総連合会』の略。職種別・企業別・産業別・一般組合などの連合体。

【自 治 労】 1954年結成の『全日本自治団体労働組合』の略。基本的に地方公務員の労働組合の集まり。

どんな組合なの『市職労』って

1946年に結成。現在の市長の野党組合であり、全労連傘下の自治労連に加盟している組織。現在、約4,500人の組合員で構成されています。

【野党組合】 現在の市長は、自分たちが必死になって応援した共産党がイチ押しする人物ではないため、そろそろビックリするぐらいに目の敵にしています。

なので、必然的に反対勢力にならざるを得ず、政治の構図上このように呼ばれたりするのです。

【全 労 連】 1989年結成の『全国労働組合総連合』の略。職種別・企業別・産業別・一般組合などの連合体。

【自治労連】 1989年結成の『日本自治体労働組合総連合』の略。こちらも基本的に地方公務員の労働組合の集まりだが、自治労とは対極に位置する集団。

二つの組合が加盟する団体

さて、前述の自治労市職の組合説明の中にある『**連合**』『**自治労**』、そして同じく、市職労の組合説明の中にある『**全労連**』『**自治労連**』、名称は違えど、実はどちらの団体もめざしているところはどうやらあまり大差のないように思われます。

では何故このように、似たような団体が存在し、双方の組合が別々に加盟することになったのでしょうか。



その昔、公務員の労働組合と民間の労働組合はえらい仲が悪かったといえます。それではアカンと思い日本の労働組合を統一させるため、また、何でも反対ばかりを掲げてきたこれまでの古臭い体質から脱却し、労働者側と使用者側がお互いに協力し合おうということで、1989年に結成されたのが**連合**なのです。

しかし当時、このような時代の流れに猛反発する人たちも存在しました。「闘わない労働組合に成り下がろうとしている**連合**の考え方には賛同できない」とゆーのが反対理由だったのです。

そして、その反対勢力は、後の**全労連**・**自治労連**という独自の団体を立ち上げるに至ったのでした。

これで、三つの団体の結成が同じ時期なのも納得できますね。

『自治労』について

1954年に結成されて以降、戦後の労働運動の中心を担ってきたといわれ、現在約96万人の組合員、約2,800の単組が加盟している日本最大の公務員労働組合。

巨大組織であるがゆえ、いつの時代もその動向が様々なメディアに取り上げられており、良くも悪くも社会に与える影響力はとてつもなく超メガトン級。

『自治労』が世の中を賑わすたびに、良く似た団体名を付けてしまった『自治労連』は「間違われてエライ迷惑や！」と、きつついめに怒ったはります。

ホントはね、市職労も以前は自治労の加盟団体だったのよ。でもね、自治労が連合に同調することについて、組織内で賛成派と反対派が対立しちゃって、覇権争いが勃発したの。

骨肉の争いは、賛成派が1990年に自治労市職を再建する格好で、市職労と分裂して一応の決着をみたわ。これで市職労は、自治労からの脱退を余儀なくされて、残りの組合員を引き連れ我が道を突き進むことになったの。

そして、この脱退劇にはもう一つの真実があるのよ。上部団体の選択には、組合員の全員投票をもって決定することが組合規約で定められていたわ。ところが、全員投票で自治労からの脱退を否決されてしまうことを恐れた市職労は、組合員に意志確認を行なわないで、なんとか自治労と絶縁をして全労連へ加盟する策を企てたの。

そのカラクリはこうよ、組合員から組合費をキッチリとかすめ取っている傍ら、自治労批判を繰り返して「本部に組合費納入を強要される覚えはない」と居直り、組合費を滞納(二年間)するという手段に出たわ。

そして、再三にわたる自治労からの警告を無視し続けた結果、シビレを切らした自治労が市職労に“破門状”を叩きつけたっていうわけ。

まあすべては市職労の思惑通りになったっていうことね。



労働組合と政治の関係

労働組合が抱える課題の中には、突き詰めると政治レベルで解決しなければならないときもあり、そのためには政界との関係が大変重要になると言われています。

だから労働組合も、政党と仲良しになるのです。確実に言えるのは、巨大な組織ほど政治とのつながり無しでは成り立たないものなのです。

自治労市職 市職労

と
は
どちらの組合も特定政党とのかかわりを表向きには出していませんが、日頃の行いをみると、どの政党にベッタリかはおのずと見えてきます。

自治労市職は一見、**民主党**を支持しているかのように思えますが、それは微妙なところで、そうじゃないという組合員さんも現実におられますので、断言するにはいろいろと問題があります。

まあ、組織的な付き合いで見れば今は**民主党**とは仲良しですが、いつまで続くのか疑問視する声も。

一方の**市職労**は、特定政党支持の立場を取らないと清らかな宣言をする傍ら、選挙戦などで推薦や応援をする候補者は、必ず**共産党**が影でイチ押ししている人たちばかりです。こちらも、すべての組合員がそうだと限りませんが、総合的に判断して**共産党**とベッタリ確定です。

己の決めた道に自信を持っているのなら、隠そうなんて思わないで『生涯一筋です』と胸を張って言い切った方がカッコいいし、組合員にもわかりやすい。それは、党にとっても心強い話でもあり、そのほうがよっぽど清らかだと思います。

党のブランドイメージに自信がないのなら早いこと見切るのもよし。



I ♥ 民主党

共産党命

ま・と・め

	自治労京都市職員労働組合	京都市職員労働組合
運動方針	どちらも労働者のために頑張っています	
組合員数	約3,700人 近年は横ばいが続く	約4,500人 ここ10年で約1,200人減少
現市長との関係	良	悪
上部団体	連 合 (約700万人) 自治労 (約96万人)	全 労 連 (約80万人) 自治労連 (約25万人)
セールスポイント	歴史は浅いが全国的にみれば労働組合の主流派 あんまりよその悪口を言わない 年間の総組合費はコチラが安い	ココ一番の組織統制力は抜群 闘うことにこだわる労働組合 赤旗しんぶんを読むなら正規販売も手がけるコチラで定期購読可能
イケてないところ	どちらの組合も組織強化・拡大を果たせているとはいえない	
組合費(月額)	基本給×1000分の15+支部費	基本給×1000分の15+支部費
支持政党	民主党	日本共産党
加入決断要素	何か基準を設けて判断するのもいいかも知れません。たとえば、 3回以上勧誘してきたらうっとおしいのでその組合には加入しない 自分の職場にどちらの組合員が多いかによって決める バックについている政党などの組織で決める 気になるあの人が加入している方に決めちゃう 等々	



さて、いかがでしたか？ 少しは労働組合というものをご理解いただけましたでしょうか。

どちらの組合にも良いところと悪いところがあります、決してその場しのぎの甘い言葉に惑わされたりせず、一番確かなあなたの瞳で真実を見抜いて加入を決めてください。

どうしても組合に加入したくないとおっしゃる方もいるでしょう。でもそんな人ばかりになってしまうと、労働組合はいずれ消滅し、給料も仕事も雇い主の都合のいいように決められてしまうかも知れません。



そんなことにならないためにも、必ず労働組合に加入してみんなで力を合わせて働きがいのある職場をめざしていきましょう。

自分自身が労働者である限り、労働組合の存在を避けて通ることは出来ないのですから。